

井上祐輔前理事が旭日小授章を受けられました。

当協会の理事を長く務められました、株式会社 三徳の元社長、会長の井上祐輔氏が2016年秋の褒章で叙勲の荣誉に浴されました（旭日小授章）。

同氏は、株式会社三徳の社長（平成3年～18年）、会長（～平成26年）を長年務められ、同社を希土類業界有数の企業に育て上げられると同時に、希土類産業の拡大発展に努められ、希土類学会副会長（平成10年～12年）、兵庫県経営者協会理事（平成11, 12年）、新金属協会理事（平成12年～平成26年）を歴任、又、中国希土類業界とのパイプも太く、日中レアアース交流会を立ち上げ相互交流を図る為に、希土類学会、新金属協会の代表として同会議に出席されるなど、長年、希土類業界発展の為、産学会に多大なる貢献をされたことが高く評価されました。

平成22年の尖閣問題に端を発したレアアース危機の際には、同社が長年取り組んでおられるリサイクル事業として、国内に本格的な希土類金属の電解工場をいち早く立ち上げ、持続可能な希少金属資源の活用を図るかたわら、翌年（平成23年）10月から経済産業省産業構造審議会環境部会廃棄物・リサイクル小委員会臨時委員も務め、政府のレアメタル、レアアースのリサイクル推進のための検討に具申を行っておられます。

社業においては、ニッケル水素電池合金や、現在の希土類磁石の主流を占めるサマリウムコバルト磁石用、更には、ネオジム鉄ボロン磁石用合金の画期的な製造・増産法（ストリップキャスト法）を世に送り出し、日本が誇る高機能希土類製品の利用拡大に先鞭をつけられたことに加え、希土類の高度利用化成品事業については、阿南化成株式会社を設立、ローディア（現 SOLVAY レアアースシステム社）との協業、事業の拡大を図るなど、その活動は、希土類産業全体の発展に内外ともに幅広く貢献をされています。

当協会・希土類業界への長年に亘るご尽力・ご貢献に心より御礼申し上げますと共に、今回の叙勲を心よりお喜び申し上げます。



協会50年記念誌座談会（2006年）
（2列目中央が井上氏）



褒章伝達式（2016.11.09）